ボーリング柱状図

調　　査　　名　向地区　急傾斜地崩壊防止施設緊急改築事業に伴う業務委託

事 業 ・ 工 事 名

ボーリングNo.	5	1	3	2	2	5	3	5	0	0	0

シートNo.

ボーリング名	No.28-5	調査位置	呉市蒲刈町　向	北緯	34° 11’ 36.6650″	
発注機関	広島県西部建設事務所　呉支所	調査期間	平成28年 5月23日～平成28年 5月27日	東経	132° 41’ 18.7430″	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	52.17m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	YBM-05型	ハンマー落下用具	自動落下
総掘進長	13.00m								エンジン	ヤンマーディゼルNFD-10	ポンプ	YBMGP-3

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	岩級区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度 m	打撃回数／貫入量 回/cm	N値	原位置試験	室内試験	掘進 掘進月日	掘進速度 cm/時	孔径／孔壁保護	コアチューブ／ビット／打ち込み	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l/分	排水量 l/分
1	51.67	0.50		粘性土	暗褐						0.5付近まで農耕土																	
2				粘土質砂礫	暗灰						亜角礫径10～60mm位が主体で60～100mm位混じる。 礫間粘土質細砂にて充填され全体的に緩い。 全漏水する。																
3	49.57	2.60		泥岩	～	D	V	d	δ	3	泥岩の破砕部で、礫混じり土砂状を呈する。 GL-4.60～5.0m間岩片状コア。	7[0]	DM		1.15 / 1.45	9/30			5/23		66	HW／DI	100～300	150	0～1	泥水／10	0～3
4												5[0]			2.15 / 2.45	26/30											
5	47.57	4.60			暗黒灰							5[0]			3.15 / 3.45	12/30											
6	47.17	5.00					IV	c	γ	2			CL		4.15 / 4.45	11/30											
7	46.47	5.70					V	d	δ	3		5[0]	DM		5.15 / 5.45	18/30											
8	45.17	7.00				C～D	IV	c～d	γ	2	亀裂著しくコア角礫～細礫状に砕ける。 一部粘土化している、全漏水する。	6[0]	CL		6.00 / 6.05	50/5											
9	44.67	7.50				D	V	d	δ	3			DM		7.15 / 7.45	17/30											
10	43.17	9.00		砂岩		C	III	b			岩質CM、コア柱状にて採取するが亀裂著しく礫化する。 全漏水する。	10[20]	CM		8.00 / 8.04	50/4			5/24	540							
11	42.07	10.10				C～D	III～IV	c				12[35]																
12	41.17	11.00			暗黒灰		III	b	γ	2	岩質はやや新鮮だが、斜亀裂分布する。	5[0]	CL		9.44 / 9.48	50/4											
13	40.37	11.80				C		c			GL-11.0～11.9m間、砂岩質で石英脈を網状に挟む。	10[10]	CM		11.00 / 11.02	50/2			5/25								
14	40.17	12.00					III～III	b～c			亀裂面の変色は認められない。	12[43]	CL														
15	39.17	13.00					III					13[25]	CM														
16																												
17																												
18																												